

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	言語文化	2	1年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 言語文化
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

1	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
2	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりする。
3	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	常用漢字や古典の文章中の語句、文法、表現技法について正しく理解できている。
② 思考・判断・表現	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	意欲的に学習に取り組み、理解した内容や感じたことを自分の言葉で表現することができている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	C	B	A	授業態度など
ノート提出	B	A	B	指示した時期に提出
感想の記入	C	B	A	各単元終了後に提出
定期考査	A	B	C	定期テスト、課題テスト

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	古文入門 古文の学習 「児のそら寝(宇治拾遺物語)」 漢文入門 漢文の学習 故事成語 「漁父之利(戦国策)」 近現代の詩歌 その子二十	わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 古典としての漢文を読むことの意義を知る。 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 短歌の鑑賞の方法を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。
2 学期	歌物語 「伊勢物語」 史伝 「先従隗始(十八史略)」 随筆(一) 「枕草子」 詩 唐詩の世界 伝統と文化 「祭りの笛」 言語活動 「祭り」をテーマに随筆を書く	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、登場人物が用いた論理を読み取る。 随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々の思いを読み取る。 伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。 伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す方法を学ぶ。
3 学期	日記 「土佐日記」 思想 「論語」 随筆(二) 「徒然草」	日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 孔子のものの見方や考え方を理解する。 作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。